

2012年6月28日

東南アジア古典文化論 ～インドネシアのイスラーム化と イスラームの現地化～



東京外国語大学
青山 亨

現代のムスリムの分布



東南アジアの国別ムスリム人口

	人口	イスラーム信徒数	割合	タイプ
インドネシア	240,271,522	206,873,780	86.1%	
マレーシア	25,715,819	15,532,355	60.4%	
フィリピン	97,976,603	4,898,830	5%	
タイ	65,905,410	3,031,649	4.6%	
ミャンマー	48,137,741	1,925,510	4%	
シンガポール	4,657,542	693,974	14.9%	
カンボジア	14,494,293	304,380	2.1%	
ブルネイ	388,190	260,057	67%	
ベトナム	86,967,524	86,968	0.1%	
東ティモール	1,131,612	11,316	1%	
ラオス	6,834,942	—	—	
	592,481,198	233,618,849	39.4%	

イスラームに基づく国民の祝日

2010年	インドネシア	マレーシア	ブルネイ	シンガポール
2月26日	マウリッド (ムハンマド生誕祭)	○	○	
7月10日	イスラ・ミラジュ (ムハンマド昇天祭)		○	
8月11日			ラマダン(断食月) 初日	
8月27日			クルアーンの啓示	
9月10-11日	イドル・フィトリ (断食明け大祭)	○(9月10-11日)	○(9月10日)	○(9月10日)
11月17日	イドル・アドハ (犠牲祭)	○(11月17日)	○(11月16日)	○(11月17日)
12月7日	イスラーム暦1432年新年	○	○	

イスラームの歴史

- 570年 ムハンマドがメッカに生まれる。
- 610年 ムハンマドが神の啓示を受ける。
- 632年 ムハンマドが死去。カリフ制始まる。
- 661年 ウマイヤ朝が始まる。
- 750年 アッバース朝が始まる。
- 1096年 第1回十字軍。
- 1206年 北インドにイスラーム王国が成立。
- 1258年 モンゴル軍がアッバース朝を倒す。

1. アチェ(13C末～) 2. マラッカ(15C初～16C初) 3. ジャワ島北岸(16C～)



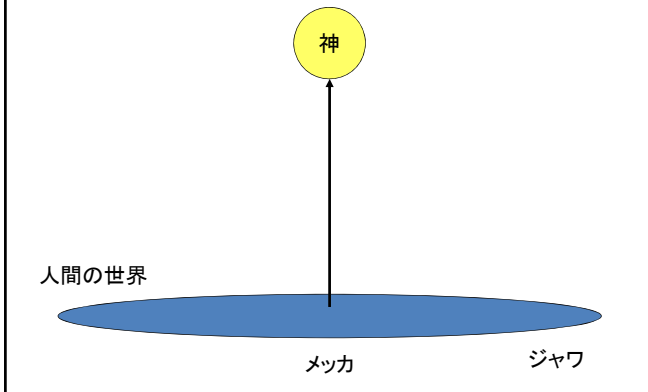
イスラーム

- 六信:
 - 1)アッラー、2)天使、3)啓典、4)預言者(ムハンマド)、5)来世、6)天命
- 五行:
 - 1)信仰告白、2)礼拝(1日5回)、3)断食、4)喜捨、5)巡礼
- イスラーム暦(ヒジュラ暦)
 - 純太陰暦:西暦2010年=ヒジュラ暦1432年
 - 断食月(ヒジュラ暦第9月)、断食明け祭日(ルバラン)の朝に集団礼拝

正統的信仰

- 神は、一切を超越した唯一の絶対者、世界の創造主、終末の裁き主
- 神のみが祈りの対象

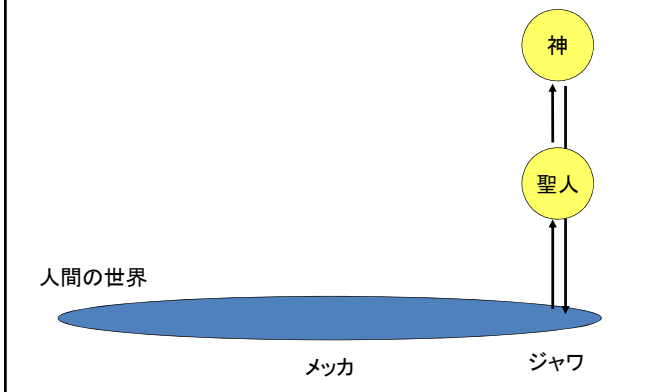
イスラームの神



イスラームの現地化

- 聖者信仰
 - ワリ・ソング<wali(聖者)+songo(九)>
 - 15世紀末~16世紀初、ジャワ島においてイスラーム布教に従事した九人の聖者
 - 聖人廟への巡礼
- 土着的伝統の受容
 - 死者への祈祷
 - 人形影絵芝居(ヒンドゥーの神々が登場)の容認

イスラームの神 その2



ジャワの宮廷儀礼 1

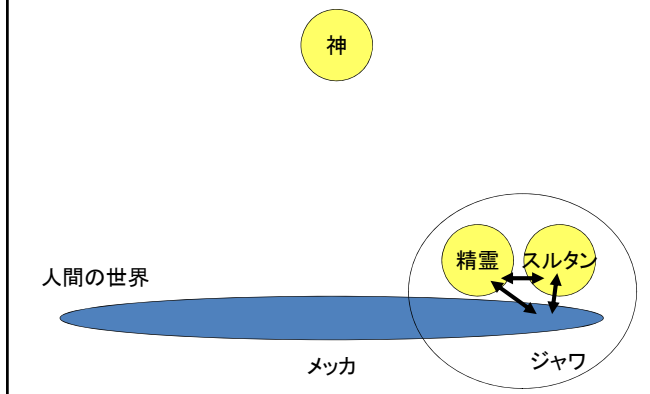
- ジョグジャカルタの王
 - スルタン(Sultan):イスラーム地域社会の世俗的権力者
 - マタラム王朝の末裔
- ガルブツグ(Garebeg)
 - ムハンマドの誕生日(第3月)
 - 断食月明け(第10月)
 - 犠牲祭(第12月)
- グヌンガン
 - ガルブツグ祭礼のハイライト
 - 山型の食べ物のみこし>民衆に配布
 - 豊穡儀礼

ジャワの宮廷儀礼 2

- 新年儀礼
 - イスラム暦正月
 - イスラム暦=ジャワ暦(マタラム王朝期に改暦)
- パラントウリティス
 - ジョグジャカルタ南方のインド洋に面した海岸
 - スルタン王宮の供物を海に奉納
 - 聖なる岩「パラクスモ」
 - 南海の女王ラトゥ・キドウルへの奉納と瞑想

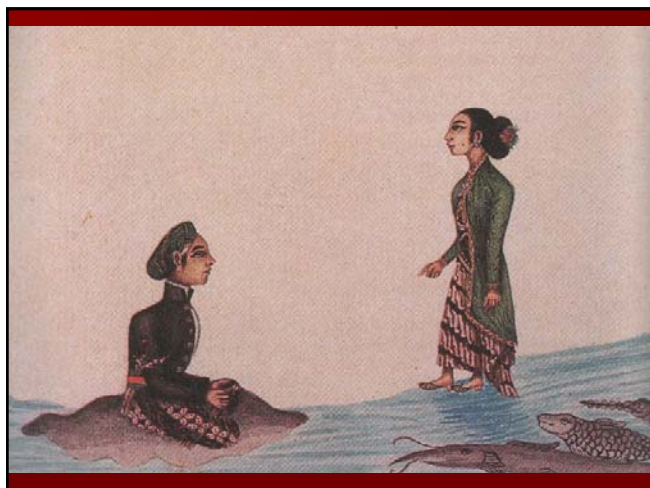


イスラームの神 その3



ラトゥ・キドウル

- ラトゥ・キドウル「南海の女王」
 - ラトゥ(ratu) = 女王
 - キドウル(kidul) = 南
 - ジャワ島南海岸部を中心に広く信仰
 - 南海(インド洋)にあって、ジャワ全土の精霊たちを支配
- マタラム王朝との関係
 - 王朝の創建者セノパティと交流
 - マタラム王朝の子孫とも交流を継続



ブドヨ・クタワン

- ジャワ宮廷舞踊
 - ブドヨ・クタワン(bedhoyo ketawang)
 - スラカルタ、ススフナン王宮。マタラム王朝の末裔
 - 神聖舞踊、王の即位記念日
 - ガムラン伴奏
 - 九人の女性による集団舞踊
- ラトゥ・キドウルの出現



ラトゥ・キドウルへの供物

- 東ジャワ州、グリユップ村の事例
- ラトゥ・キドウルへの奉獻
 - レヨグ(reyog)踊り
 - インド洋への供物

スラマタン

- スラマタン(selamatan)
 - スラマタン<selamat アラビア語「安寧」
 - 共同体の構成員(精霊を含む)による共食儀礼
- ブルシ・デサ(bersih desa)
 - 村落共同体の「清めの儀礼」
 - 年に1回、通例、収穫の後
 - アッラーに対する感謝、祖先・村開祖への敬意、アッラーと使徒に対して村の安寧を祈願
 - スラマタン(共食儀礼)

稲収穫儀礼

- デウィ・スリ(稲の女神)の信仰
 - デウィ<サンスクリットdevi(女神)
 - スリ<サンスクリットSri(吉祥の女神)
- 稲穂にデウィ・スリが宿る
 - 初穂をアニアニで穂刈りし、女神の形に作って供養する



ジャワ人の精霊信仰

